

事業所名

児童発達支援ゆめ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和7 年

5 月

6 日

法人（事業所）理念		小さなことでも「出来た」の経験を積み重ね、「自分は出来る」と自信がつくことで自己肯定感が高まり、ありのままの自分を認めることが出来ます。礼儀・規則の中での自由な環境こそが子ども心と体が成長していけると考えています。一人ひとりが「夢」を持ち、その実現に向かって羽ばたいていけるよう、支援していきます。					
支援方針		個々の能力を最大限に生かせるよう、細やかなアセスメントを行い、子どものペースで成長出来るよう支援します。個別、小集団の活動の積み重ねで基本的な生活習慣を身に着けることが出来るよう支援します。					
営業時間		10 時 00 分から	18 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	個々の身体状況を把握し、職員や他児童との触れ合いを通じた日常生活に寄り添った支援を行い、基本的な生活習慣を身に着け自立した生活を送る基礎を築けるよう努めます。					
	運動・感覚	個別及び小集団で様々な感覚を刺激する運動を通じて、運動能力を高め、日常生活での動きがスムーズになるよう支援します。また、感覚が過敏な子どもにも配慮した環境を作り、楽しみながら身体機能の向上が出来るよう支援します。					
	認知・行動	場所へ安心感を得やすいように、子どもの好きな遊びから始めるようなスケジュールと環境を整えます。ものや視覚支援を活用して指示や活動内容がわかり、見通しを持った自主的な行動につなげます。認知のこだわりなど、個々の特性に配慮した支援を行います。					
	言語 コミュニケーション	子どもの目線に合わせ、話に耳を傾け、共感し、子どもが話すことを楽しむような雰囲気を作ります。子どもの興味があることを把握し、絵カード、絵本の読み聞かせ等から発語を促し、会話のキャッチボールに繋げていくよう支援します。					
	人間関係 社会性	子どもと職員との信頼関係を構築に努め、それを基礎に周りとの安定した関係が築けるよう支援していきます。簡単なルールのある運動や遊びを通して、必要な社会性を身に着けていくよう支援します。					
家族支援		ご家族からのお子さんの家庭での様子や心配などについてお話を伺い、ご家庭でも実践出来るような環境づくりや関わり方の工夫を一緒に考えます。ご家族の精神面でも		移行支援		就園や就学時に切れ目のない支援が出来るよう移行先に発達やこれまでの支援経過、支援方法等に関する情報を共有します。	
地域支援・地域連携		地域の行事への参加。地域の施設間の交流等		職員の質の向上		外部研修の受講や事業所内研修を実施し、職員の専門的な知識やスキル、支援の質の向上に努めます。	
主な行事等		各季節のイベント開催予定。					